

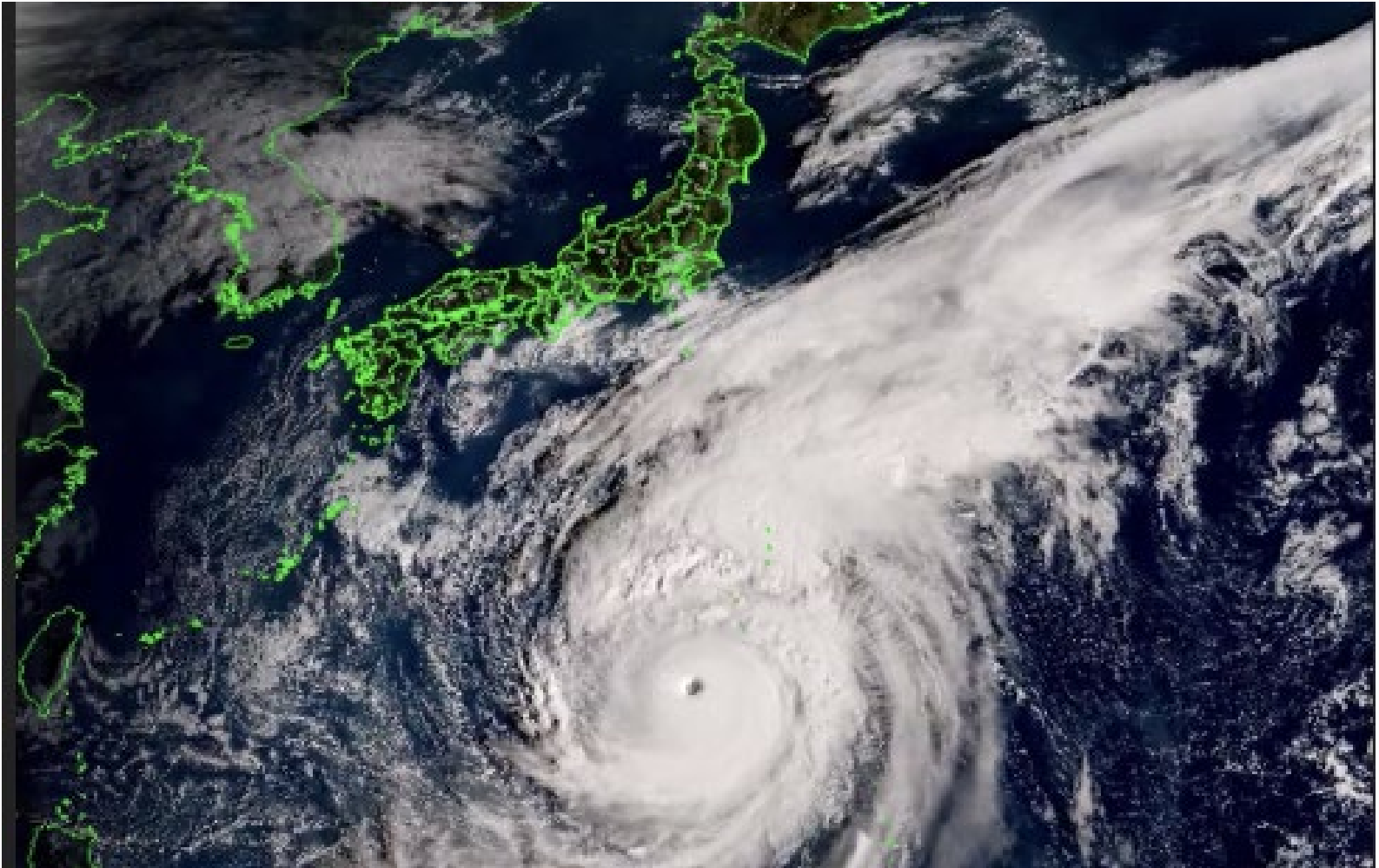


私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

かながわ気候非常事態宣言

甚大な被害をもたらした台風19号



「令和元年台風第19号」（気象庁ホームページより）

気候は、今まさに非常事態に直面しています

国内外の気候非常事態宣言の状況

2016年12月 世界で初めてオーストラリアの
デアビン市が宣言



<世界>

26カ国の1,300を超える自治体等が宣言

<国内>

長崎県壱岐市をはじめ、7つの自治体等が
宣言

(1月31日11時現在 出典：<https://www.cedamia.org/>)

かながわ気候非常事態宣言（趣旨）

一人ひとりが気候変動問題を「**自分事**」として捉え、
日ごろから意識を持って行動することが必要

- ✓ 県民の皆様等と「**危機感**」を共有
- ✓ とともに「**行動**」する

かながわ気候非常事態宣言

～いのちを守る持続可能な神奈川の実現に向けて～



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。
SDGs 未来都市 神奈川県



かながわ気候非常事態宣言

基本的な取組みの柱

1

今のいのちを守るため、
風水害対策等の強化

2

未来のいのちを守るため、
2050年の「脱炭素社会」の実現に
向けた取組みの推進

3

気候変動問題の共有に向けた、
情報提供・普及啓発の充実

神奈川県的主要な取組み

1

今のいのちを守るため、
風水害対策等の強化

水防災戦略

- I 緊急に実施することで被害を最小化するハード対策
- II 中長期的な視点で取組みを加速させるハード対策
- III 災害対応力の充実強化に向けたソフト対策

【事業費】

令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
426億円※	464億円	484億円	1,374億円

※うち27億円は、令和元年度2月補正予算

神奈川県的主要な取組み

2 未来のいのちを守るため、
2050年の「脱炭素社会」の実現
に向けた取組みの推進

3 気候変動問題の共有に向けた、
情報提供・普及啓発の充実



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

令和2年度当初予算案

SDGs最先進県神奈川 新たなステージへの挑戦

- 厳しい財政状況にあっても、「かながわグランドデザイン」に掲げる施策を着実に推進するため、徹底した事業見直しや財政調整基金の取崩しなどにより予算を編成
- 「かながわ気候非常事態宣言」の取組みを推進
- 東京2020大会の成功とレガシーの継承に向けた取組みを推進
- 県民生活に密着した取組みを着実に推進

1 会計別予算額

区 分	令和2年度 当初予算額 A	令和元年度 6月現計予算額 B	前年度比 A / B
一般会計	1兆9,035億円	1兆8,559億円	102.6%
特別会計	2兆1,422億円	2兆 719億円	103.4%
企業会計	1,486億円	1,136億円	130.8%
総 計	4兆1,944億円	4兆 415億円	103.8%

2 県税の内訳

区 分	令和2年度 当初予算額 A	令和元年度 6月現計予算額 B	前年度比 A / B
個人県民税	3,372億円	3,352億円	100.6%
法人二税	2,852億円	3,179億円	89.7%
地方消費税	3,938億円	3,329億円	118.3%
その他	1,967億円	2,039億円	96.5%
合 計	1兆2,131億円	1兆1,900億円	101.9%
実質収入額※	1兆 920億円	1兆1,049億円	98.8%

△128億円

※県税・地方譲与税等から税交付金等を除いた額

3 性質別予算額

区 分	令和2年度 当初予算額 A	令和元年度 6月現計予算額 B	前年度比 A / B
義務的経費（構成比82.5%）	1兆5,696億円	1兆5,015億円	104.5%
人 件 費	5,151億円	5,160億円	99.8%
介護・医療・児童関係費	3,983億円	3,817億円	104.3%
公 債 費	2,972億円	2,979億円	99.8%
税 交 付 金 等	2,808億円	2,286億円	122.8%
維持・法令義務費等	779億円	772億円	101.0%
政策的経費(構成比17.5%)	3,339億円	3,543億円	94.2%
公 共 事 業 ・ 県 単 土 木 事 業 費	877億円	854億円	102.6%
合 計	1兆9,035億円	1兆8,559億円	102.6%

4 2年度の財源不足対策

○ 2年度の財源不足額

当初予算編成方針通知時点の財源不足	(A)	△700億円
その後の変動要素	(B)	+160億円
地方譲与税の増		+170億円
地方交付税等の減		△90億円
公債費（利子）の減、介護・医療・児童関係費の減等		+80億円
計	(A + B)	△540億円

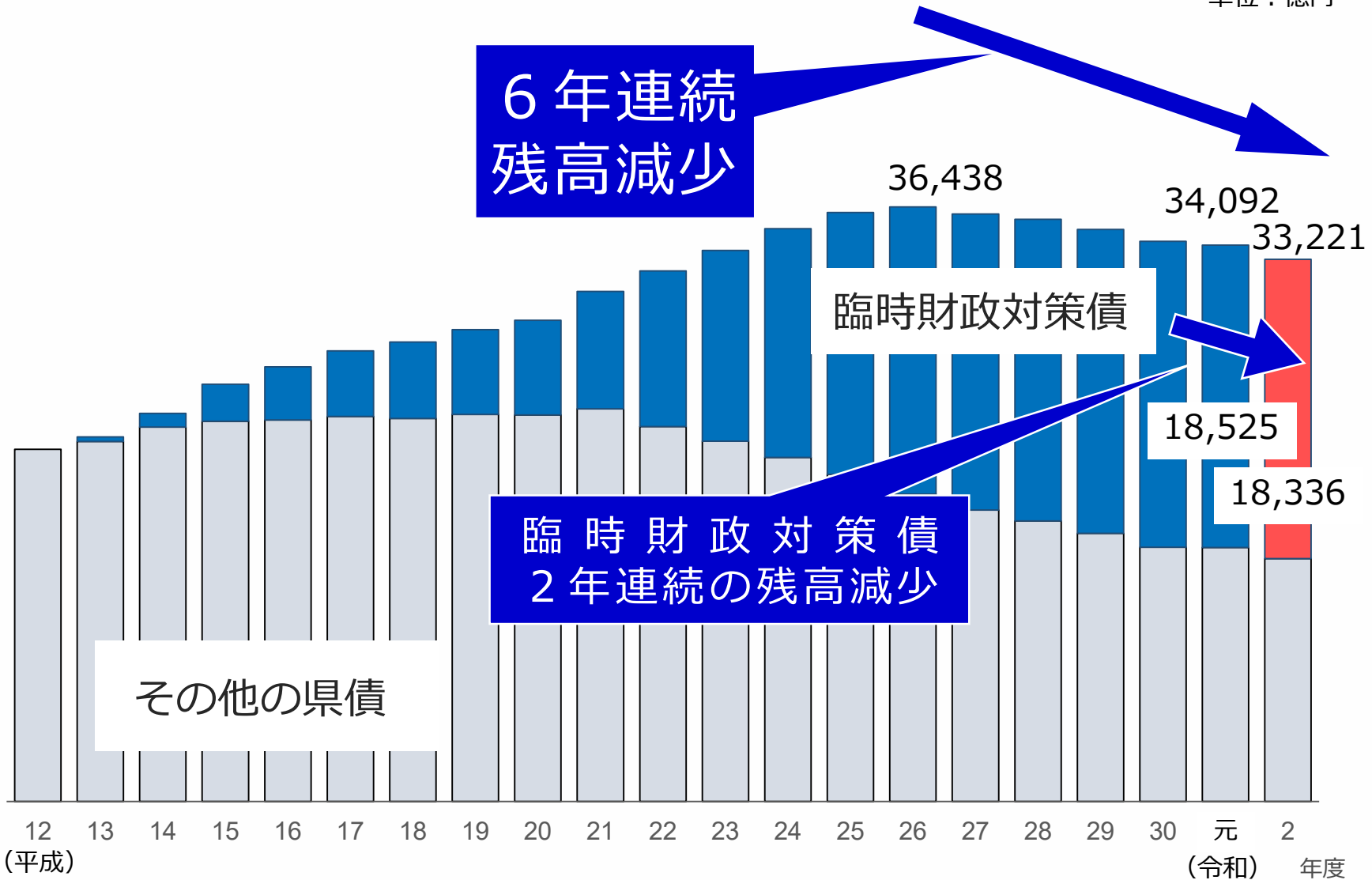
○ 財源不足対策

元年度からの財源活用（減収補填債等）	(C)	+270億円
2年度財源確保	(D)	+270億円
事業見直し等		+140億円
財政調整基金の取崩し（残高 R1末610億円→R2末480億円）		+130億円
計	(C + D)	+540億円

※10億円単位で整理

5 県債年度末現在高の推移

単位：億円





私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

2年度当初予算案 重点的な取組み

- 1 「かながわ気候非常事態宣言」の取組み
- 2 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功とレガシーの継承に向けた取組み
- 3 かながわグランドデザイン第3期実施計画の柱ごとの取組み
(重点1～9)
- 4 SDGsの取組みの推進
- 5 ヘルスケア・ニューフロンティアの推進

「かながわ気候非常事態宣言」の取組み

457億7,006万円

今のいのちを守るため、風水害対策等の強化

399億7,194万円

■ 緊急に実施することで被害を最小化するハード対策

- ・ 河川の緊急対応
- ・ 県営水道施設の災害対応力の強化 など

■ 中長期的な視点で取組みを加速させるハード対策

- ・ 遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備
- ・ 土砂災害防止施設の整備 など

■ 災害対応力の充実強化に向けたソフト対策

- ・ 市町村への支援（避難所等の生活環境整備等）
- ・ 情報受伝達機能の充実・強化
- ・ 災害対応体制の整備 など

**未来のいのちを守るため、2050年の「脱炭素社会」
の実現に向けた取組みの推進** **29億7,648万円**

■ **「アクアdeパワーかながわ」の活用**

- ・ 企業庁の水力発電で得られる電気料金収入のうち、環境価値分を基金に積み立て、気候変動対策に係る取組みを推進

■ **かながわスマートエネルギー計画の推進**

■ **二酸化炭素の吸収源対策の推進**

**気候変動問題の共有に向けた、情報提供・普及啓発
の充実** **1億700万円**

■ **新たな環境学習教材の作成等**

- ・ 学校教育の場で学習教材を活用
- ・ セミナーの開催による普及啓発

■ **「SDGsアクションフェスティバル」を開催**

東京2020大会の成功とレガシーの継承に向けた取組み

29億1,723万円

大会の成功に向けた取組み 27億4,519万円

- シティドレッシング、大会直前イベント、壮行会の実施
- 聖火リレー、聖火フェスティバルの実施
- ライブサイトの実施
- 子どもに観戦機会を提供



ライブサイトイメージ

次世代への レガシー継承に に向けた取組み 1億7,204万円

- 神奈川育ちのアスリートの早期かつ計画的な発掘・育成
- スポーツ医科学・栄養学の観点から、ジュニア・ユースアスリートを支援
- ねんりんピックかながわ2021に向けた取組み

重点1 未病改善の取組み及び地域医療体制の整備

274億3,338万円

未病改善の取組み 7億4,199万円

- 未病指標の普及拡大・精緻化
- 未病の状態から医師等が関わる未病コンディショニングセンター（仮称）の実証
- 栄養サミットサイドイベントの開催

地域医療体制の 整備充実 269億7,557万円

- 医療・介護情報を共有するネットワークシステムの構築等を支援
- 骨髄移植後の予防接種の再接種を支援

重点2 障がい・高齢福祉施策の推進

1,736億8,923万円

ともに生きる社会
かながわ憲章の理
念の普及と津久井
やまゆり園再生に
向けた取組み
43億5,258万円

- 憲章の理念の普及
- 津久井やまゆり園の再生

ともに生きる



障がい者施策
の推進
663億5,828万円

- 意思決定支援、地域生活移行支援の推進
- 聴覚障がいのある乳幼児の手話言語獲得支援
- 分身ロボットによる社会参加の拡大
- 共生共創の推進

高齢者支援施策の推進

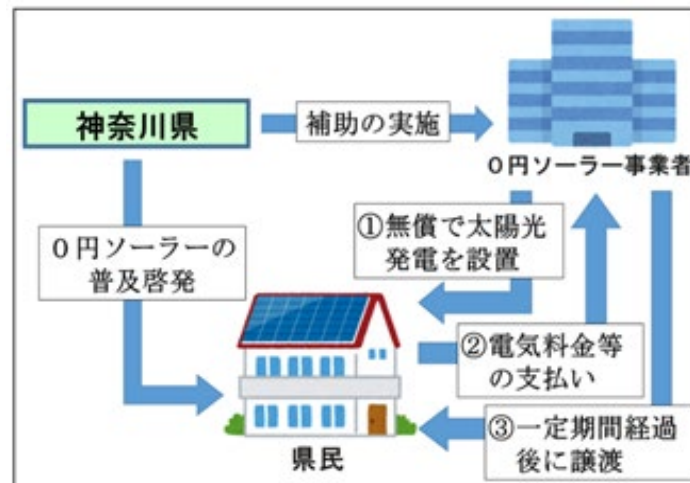
1,031億1,110万円

かながわスマートエネルギー計画の推進

8億4,452万円

■ 「0円ソーラー」の普及

- ・ 初期費用ゼロで住宅用太陽光発電設備を設置する事業への補助



■ 従来の補助事業を引き続き実施

- ・ 自家消費型太陽光発電設備
- ・ 蓄電池、V2H
- ・ 燃料電池自動車 (FCV)
- ・ 水素ステーション

など

重点4 県内経済・産業の活性化

171億7,382万円

中小企業・小規模企業活性化の推進

83億1,886万円

- 「企業経営の未病改善」の更なる推進
- 「HATSU鎌倉」や「SHINみなとみらい」におけるベンチャー企業の支援

産業集積の促進と海外との経済交流の促進

34億5,915万円

- 企業立地の促進
・セレクト神奈川NEXT



農林水産業の活性化

52億1,049万円

- 若者の漁業就業・定着化の促進
- 大規模外洋養殖施設の誘致に向けた取組み
- 豚熱（CSF）の発生・拡大予防

重点5 行ってみたい神奈川の魅力づくり

8億4,608万円

観光資源の発掘・
磨き上げ
5億31万円

- 1,000通りのツアーの充実強化
- 共生共創事業や文化オリンピックなど、マグカルの推進



文化オリンピック
(流鏝馬)



共生共創事業
(シニア劇団の公演)

戦略的プロモーションの推進
2億4,840万円

- 戦略的プロモーションの推進

KANAGAWA FESTIVAL
in HANOI



受入環境の整備
4,720万円

- 多言語表記の案内板やWi-Fi環境の整備

重点6 安全で安心してくらせる神奈川の実現

1,183億1,822万円

地震災害対策の 推進

938億6,325万円

- 現地災害対策本部の機能充実
- 防災行政通信網の再整備
- 被災者生活再建支援の恒久化

犯罪や事故など のない安全で安 心なまちづくり

47億196万円

- 防犯カメラの設置補助
- 迷惑電話防止機能を有する機器への補助
- 交通安全施設の整備の推進
- AIによる犯罪等発生予測システムの構築
- 車両型の「アクティブ交番」の整備



アクティブ交番イメージ

重点7 子ども・子育てへの支援

1,375億2,185万円

私立高等学校等
生徒学費補助金
の充実等
52億4,293万円

- 授業料等の実質無償化の対象拡大
 - ・ 授業料 年収約700万円未満の世帯
 - ・ 入学金 住民税非課税世帯まで

子ども・子育て
支援の更なる充実
671億8,982万円

- 幼児教育・保育の無償化
- 保育士の就職・就業継続の支援

支援を必要とする
子ども・家庭
への取組み
916億11万円

- 児童相談所の体制強化
- 子どもの権利擁護の推進
(アドボカシーの仕組みの構築)
- SNSを活用した相談体制の拡充

重点8 県立高校改革等教育環境の整備の推進

293億847万円

県立教育施設 整備の推進 235億5,835万円

- 新まなびや計画の推進
 - ・ 県立学校における耐震・老朽化対策、トイレ洋式化、空調設備整備等
 - ・ 特別支援学校の計画的整備



あおば支援学校

教員の働き方 改革の推進 22億1,589万円

- 市町村立小・中学校へのスクール・サポート・スタッフの配置

共生社会の実現 に向けた教育の 推進 13億3,118万円

- 県立特別支援学校における通学支援
- インクルーシブ教育校内支援体制の整備

重点9 地域資源を活かした地域活性化と多文化共生の 地域社会づくり

6億7,332万円

地方創生の 推進に向けた 取組み

1億9,894万円

- 観光の核づくりの推進
(城ヶ島・三崎 / 大山 / 大磯)
- 三浦半島の魅力最大化
- 県西地域活性化プロジェクトの推進
 - ・ 未病バレー「ビオトピア」における体験型施設「me-byoエクスプラザ」の運営

多文化共生の 地域社会づくり

4億7,438万円

- 外国籍県民等に向けた日本語教育の体制づくり
- 「あーすフェスタかながわ」の日本大通りでの開催

SDGsの 取り組みの推進 1億9,972万円

- 国連機関と連携したアジア初の「SDGsアクションフェスティバル」を開催
- 「SDGs日本モデル」宣言の具体化・SDGs Quest みらい甲子園



国連機関との連携



「SDGs日本モデル」宣言

私たち自治体は、人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、企業・団体・学校・研究機関、住民などとの官民連携を進め、日本の「SDGsモデル」を世界に発信します。

- 1 SDGsを共通目標に、自治体間の連携を進めるとともに、地域における官民連携によるパートナーシップを主導し、地域に活力と豊かさを創出します。
- 2 SDGsの達成に向けて、社会的投資の拡大や革新的技術の導入など、民間ビジネスの力を積極的に活用し、地域が直面する課題解決に取り組みます。
- 3 誰もが笑顔あふれる社会に向けて、次世代との対話やジェンダー平等の実現などによって、住民が主役となるSDGsの推進を目指します。

ヘルスケア・ ニューフロン ティアの推進 13億2,581万円

■ 先進技術を活用した高齢者に優しい地域づくり「スマート・エイジフレンドリーシティ」の推進



スマート・エイジフレンドリーシティ イメージ

■ 神奈川ME-BYOリビングラボの推進

2月補正予算（その2）の主な内容

110億6,238万円

国の「令和元年度補正予算（第1号）」への対応

- 「水防災戦略」などを推進するための公共工事の追加
 - ・ 河川海岸
 - ・ 砂防、港湾
 - ・ 道路橋りょう など

【公共事業・県単独土木事業費（一般会計）】

令和元年度	令和元年度		令和2年度	合計	比率
6月現計 予算 A	11月補正予算 (その2) B	2月補正予算 (その2) C	当初予算 D	E = B+C+D	E / A
854億円	120億円	79億円	877億円	1,076億円	125.9%

- 箱根登山鉄道鉄道線の災害復旧支援
- G I G A スクール構想を受けた取組み
 - ・ 県立高校等への通信ネットワークの基盤整備

SDGs 最先進県神奈川 新たなステージへの挑戦

- 「かながわ気候非常事態宣言」の取組みの推進
- 東京2020大会の成功とレガシーの継承
- 県民生活に密着した取組みの推進



令和2年第1回県議会定例会 条例案等の概要

【条例案等の内訳】

区 分	令和2年度関係	令和元年度関係	計
条例の制定	2件	—	2件
条例の廃止	1件	—	1件
条例の改正	16件	10件	26件
工事請負契約の締結	—	1件	1件
特定事業契約の変更	—	2件	2件
市町負担金	1件	2件	3件
その他	4件	1件	5件
計	24件	16件	40件

主な条例案①

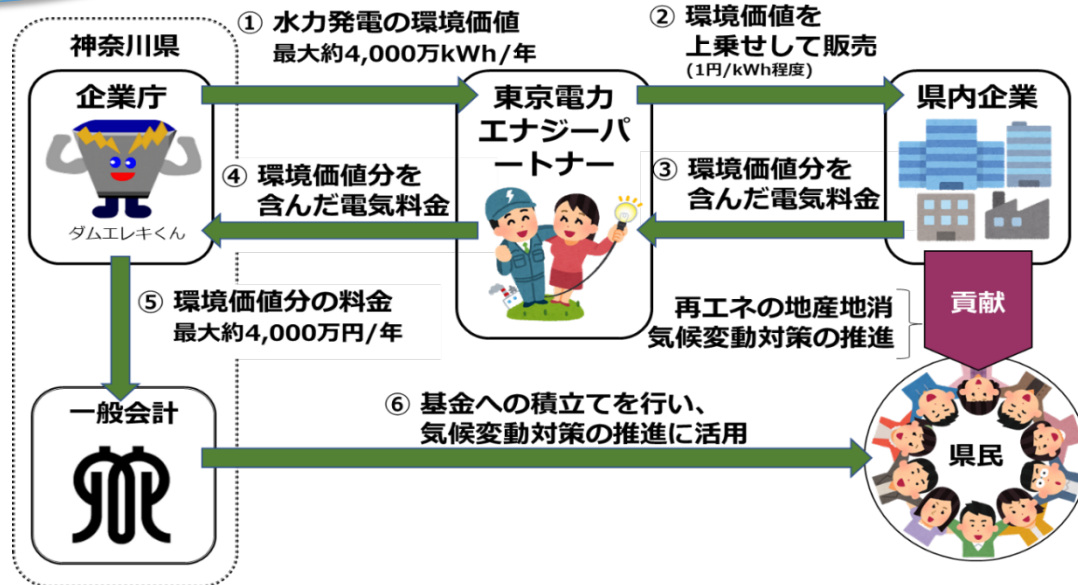
神奈川県気候変動対策基金条例

東京電力エナジーパートナーと基本合意書を締結(令和元年12月)

企業庁の水力発電による電気料金収入のうち環境価値分の相当額を気候変動対策の推進に活用

▶ 条例を制定し、環境価値分の相当額を積み立てるための基金を設置

事業スキーム



主な条例案②

県営住宅関係 2 議案

県営住宅の建替え及び維持管理を計画的に進めるため

① 県営住宅事業基金条例の制定

➡ 建替えで生じた余剰地売却収入等を積み立て、**翌年度以降の整備及び管理**に有効活用するための**基金**を設置

② 特別会計の設置に関する条例の一部改正

➡ 県営住宅全体の**事業収支を一元管理**するため、一般会計で実施している**建替え事業を特別会計に移行**

基金の活用イメージ

